

所 報

題字：武田満之校長（平成 9 年、野幌中学校）

第181号 令和6年2月9日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

- ・「スポーツ・トライ教室」普及出前授業実施報告
- ・第 2 回小学校外国語教育指導指導連絡協議会
実施報告

「スポトラ」普及出前授業実施報告

江別市では児童生徒の体力向上を図ることを目的に、北翔大学の協力を得て、平成 25 年度より、令和 3 年度まで「朝運動プログラム」の実践を進めて参りましたが、昨年度（R4 年度）より、更なるステップアップを目指す企画として、「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（通称：スポトラ）」を、スタートさせました。この企画は、春に実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、明らかになった課題（走力や持久力、投擲力の強化等）を、各校から強化項目として上げてもらい、「楽しく学ぶ」をコンセプトに、それに応えるメニューを、遊びの要素を取り入れながら北翔大学の宮先生に提供して頂きました。



中央小での「切り替えダッシュ」の様子



上江別小のゴムひもを使ったサイドステップジャンプの様子

後期実施となった出前授業は、この時期に猛威を振るっていたインフルエンザの影響で、実施が延期された学校もありましたが、11月28日（火）の中央小学校の取組を皮切りに、12月5日（水）に上江別小学校、12月7日（木）に刈谷小学校、12月12日（火）に野幌小学校、12月14日（木）に大森小学校、年が明けて1月17日（水）に豊幌小学校と、予定の6校で実施することができました。

学習内容は、走力を高めるための運動として、ダッシュ運動に、瞬発力を高めるジャンプ運動や、体幹力を高める方向転換運動を取り入れた「切り替えダッシュ」、跳躍力を強化する運動として、高く跳んだり、左右に跳ぶなど、ジャンプに変化を持たせて跳ばせる「ジャンプ遊び」、遠くへ投げる動きを強化するために、新聞紙にスズランテープをつけて投げる「流れ星!」、キック力と走力を高めるためにリレー形式で、キックパットを繋いでいく「キック&ダッシュ」、下半身全体を鍛え、前に進むための筋力をアップしたり、体の動きの方向性をコントロールするのに必要な上半身の筋力を鍛えるためキックパットを利用した「パット de スタートダッシュ（雑巾がけ運動）」等の運動を紹介して頂きました。



野幌小でのバーを使ったハイジャンプ運動の様子



豊幌小での「ボールダッシュ運動」の様子

今回、紹介して頂いた実践は、どんな運動機能を高めるための運動なのか、一つ一つの目的がしっかりと示されており、これからの指導における大きなヒントになっていたと思います。確かな運動能力の伸長につなげていくために、体育授業を中心とした教育活動で、紹介して頂いた取組を継続的につなげていくことが大切だと、強く感じました。



大森小でのミニコーンを使った幅跳び運動の様子



対雁小での「パット de スタートダッシュ」の様子

「第2回 小学校外国語教育指導連絡協議会の報告」

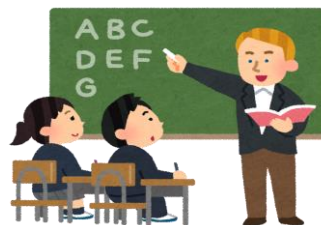
1月22日（月）に、今年度2回目の小学校外国語教育指導連絡協議会が開催されました。協議会の中で話し合われた内容は、「今年度の事業の反省」と、「次年度の事業計画について」で、事前調査で提出いただいた意見を基に、協議は進められていきました。

今年度の成果としては、指導内容の共有化にむけた学習リストの作成や、市内で共有できるデータシステム（ワークシート、指導案、自己評価票等）のc4 t hへの移行がされることがあげられました。また、次年度の活動の方向性については、「1：系統的教育課程の編成」、「2：学習内容の定着に向けた書く指導の工夫」、「3：意欲付けにつながる評価の工夫」等の課題解決に向けた対策として、事前調査から下記のような報告があげられていました。

＜課題解決に向けた次年度の方向性について＞

1 系統的教育課程の編成に向けての工夫

- 1) 教科書に記載されている学習内容に沿った編成が基本。その上で、中学校区の合同研修や特別委員会での指導計画・重点の確認を可能な限り進めていく
- 2) 指導項目の中から重点的に取り組む単元もあると思うが、大切になってくるのは、小学校と中学校の身に付けさせるための支援方法の共有がカギ。中ーギャップと言われるような指導格差を生まないようにするためにも、基本的な授業スタイルを確立させ、見通しを持たせられる支援を進めていく



2 学習内容の定着のため「書くこと」の指導を充実させる工夫について

- 1) スモールステップ～抵抗なく「書くこと」を習慣づけていくためには、学年や発達段階を考慮した系統的な支援計画を、各校が意図的に作成
 - ①指差し指導 → ②タブレット等への入力 → ③ワークシート等への基本文型転写
- 2) 日常的な学習活動の中に反復学習を意識的に位置づけ
 - ① 意見を発表する際、英文をワークシートに書いてまとめてから発表を定着化
 - ② シートを利用したなぞり書きや、デジタルドリル等を活用したスペルの反復学習
 - ③ 曜日、月、数字の練習ができる用紙の常備（家庭学習等での反復学習）
 - ④ コミュニケーション活動と関連づけた書き方指導の強化

3 児童生徒の意欲化につなげる評価の工夫について

- 1) 3観点に基づく評価規準を明確にすることが最重要→3観点の見取りを工夫
- 2) 児童生徒が主体的に取り組めるための見通しが持てる授業を提供→授業スタイルの確立
- 3) 意欲的な活動につなげるための指導と評価が一体化となった授業改善を意識的に推進